



「戦争は心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

2001年度芦屋ユネスコ協会の総会開催

6月29日、芦屋ユネスコ協会総会が開催されました。北村市長・三浦教育長のご臨席を得て、2000年度の事業報告、決算・監査報告、2001年度の事業計画・予算案が多数の出席会員の皆様により承認されました。総会后、芦屋在住の映画監督・大森一樹氏の講演があり会員交流親睦会で大いに盛り上がりました。



広瀬忠子会長のご挨拶

総会にはご多忙のところご出席戴きましてありがとうございました。昨年8月31日の再発足総会から、早や一年が経過いたしました。この一年間、役員の献身的な努力と会員の皆様の絶大なるご協力でご実のある活動ができましたこと、こんなに嬉しいことはございません。

活動の内容は事業委員会、レディスセミナー、学生クラブ、の各委員会そして事務局がそれぞれに機能するようになり、会員皆さんとの連携・親睦も広がってまいりました。

再発足早々の阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業の当番協会として、「ユネスコ世界遺産としての姫路城」と銘打ち菅原美文先生の講演会も無事実施する事が出来ました。又、それがご縁になり4月には姫路城の見学会も実現致しました。

年末の講演会&親睦会は会員の皆様との交流が盛大に出来ました。レディスセミナーは毎月欠かすことなく継続されていますし、事業委員会の実施する定例会、学生クラブの世界遺産セミナー、広報紙「AU通信」の発刊など多彩で好評！と自画自賛するところでございます。

しかし、全国の他協会と比較してみますとまだまだ不十分な事、検討すべき事も多々ございます。例えば、ユネスコ精神の理解をより深めてゆくための行事の内容、青少年会員の増強とこれに対応する新しい感覚に基づくイベント企画、連絡網の充実と有効活用による会員間の連携、親睦の強化等々課題は山積していますが本年も引き続き芦屋市民の多くの方々が喜んで会員になって頂けるような魅力とロマンのある協会にしていきたいと思います。

又会員の皆様には、ユネスコの活動に関心をもって、行事にも積極的に参加していただき、心の中に平和のとりでを築いて国際理解と世界平和に貢献しながら、併せて会員お互いの親睦を図っていただくという目的を着実に果たして参りたいと存じます。

喜ばれ、期待されそして芦屋ならではの誇りの持てる協会を皆様と創り、育てて参りたいと願っております。

各役員、各委員会、並びに会員の皆様のご指導、ご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

◇記念講演 大森一樹氏（映画監督）◇

大森一樹監督は、長年映画製作に関わってこられた経験と、新聞の「人生案内」欄の回答者として4年間携わってこられた中で感じてこられた想像力の欠如についてお話下さいました。

「人生案内」に寄せられる相談内容を見ていると、結婚前にどんな生活になるだろうと考えなかった結果「こんなはずじゃなかった離婚」が増えています。これは想像力の欠如です。想像力の欠如は思考の停止につながります。

映画はシナリオ（文字）を媒介に想像力で作っていきます。主人公の生活などを想像し映画にしていけるものですが、今の若者は「知識は豊かでも頭の硬い人たち」で、ここでも想像力の欠如を感じます。

日本では文字や言葉による知識偏重の教育の中で、芸術・文化をないがしろにしてきました。そのために、想像力を豊かに育ててくる事が出来なかったのです。現象は捉えられるが想像力のない人たちは、ああしてはいけないこうしてはいけないと子供達を育てて来ました。

想像力を駆使して物事を見る目を持った子供達を育てるには、あのようにも考えられるこのようにも考えられるという「柔らかい頭」で臨んで欲しいものです。

このようなお話をきかせていただいて、どんな事にも興味を持ち、「それってどんなこと？」と大いに想像力を持って物事を見つめ、考えていける力を養っていききたいと思います。（T）

大森一樹氏プロフィール

映画監督。1952年大阪市生まれ。京都府立医大卒。78年城戸映画監督賞受賞の自作シナリオによる「オレンジロード急行」でデビュー。「ヒポクラテスたち」「風の歌を聴け」「恋する女たち」「ゴジラVSビオランテ」「緊急呼出し／エマージェンシー・コール」「輪が心の銀河鉄道 宮沢賢治物語」等、監督作品多数。1987年度芸術選奨新人賞を受賞。芦屋市在住。



委員会報告とお知らせ

From事業委員会

□第2回定例会

11月3日(土)文化の日

「ウォッチングしながら・・・芦屋の自然(植物や昆虫)を知ろう」

□書き損じはがきの回収

芦屋ユネスコ協会主催の会合・イベント・講演会などの受付、あるいは芦屋市役所北館4F社会教育部生涯学習課内、芦屋ユネスコ協会事務局にて回収いたしております。書き損じはがきがありましたら是非ご協力下さい。

Fromレディス・セミナー

□レディスセミナーハウス

毎月第3火曜日の11時から山村サロンにて開催しております。

1. 4月17日 渡辺邦孝氏(アコーディオン奏者)
「渡辺邦孝のボンジュール!アコーディオン」 45名
2. 5月15日 畠中平八氏(タヒボジャパン(株)社長、清水一行著「相場師」モデル)
「畠中平八の人生経験」 45名
3. 6月19日 平川裕貴(株)リリパット代表取締役社長、外資系企業セクレタリー
英会話教育スクールマネージャー
「さり気なく自分流一人を活かす、自分を活かす」 43名
4. 7月17日 森 隆資氏(福井工業大学教授、芦屋ユネスコ協会理事)
「あなたもエジソンになれる!」 44名

<セミナー予告>

8月、12月は休会

1. 9月18日 カマカリトヨコ 鎌苅登代子氏(画家、モナコ公国現代美術国際展にて「DIPLOME」受賞、ヨーロッパ各地その他にて個展)
「ビューティフル ライフを描く」
—絵を描くこと、物をつくることは楽しい!—

2. 10月16日 ウエンミン 于延民氏(医学博士)「気霊功」

3. 11月20日 スポーツ界の講師の予定(未確定)

*ビジター参加可能(参加費他問い合わせ:tel 31-3353 fax 31-3046 江藤)

From学生クラブ

□学生クラブでは昨年度の実績を踏まえ、今年度も世界遺産セミナー、国際親善としてのペタンク競技大会とバーベキューパーティー、GOOD WILL PARTY、並びにユネスコ会員のEメールを通じての情報交換を充実しようと思います。具体的には次のように考えております。

*世界遺産セミナー:このシリーズは、ネイティブスピーカーが自国の世界遺産について紹介し、併せて生活様式についてもお話し願ひその国の理解に努めることを目的としております。本年度はケニア、ベトナム、スリランカ、インドネシアを8月下旬より順次開催して参ります。

*国際親善:主として海技大学校の海外研修生との交流を目的としたイベントを中心に今年も順次実施して参ります。

From事務局

- 再発足後1年を迎え、協会の活動もようやく軌道に乗ってきました。事務局としても、出来るだけ全会員とのコミュニケーションを大切に、各委員会の支援・応援業務を行って参ります。
- 会員への連絡は「AU通信」と担当役員からの連絡網によって行います。
電話・FAX・Eメール等の変更・新設等がありましたら、事務局まで郵送、FAX、あるいはEメールにてご連絡ください。
- ユネスコ活動として、会員の勧誘や書き損じ葉書の回収、イベント参加にご協力をお願いいたします。

『ユネスコ世界遺産に親しむつどい』のご案内 (先着 60名)

- 主催： エイジレス・カルチャークラブ
後援： 芦屋市教育委員会、芦屋ユネスコ協会
日時： 第1金曜日10:00～11:30 (原則として2月、8月は休み)
場所： 芦屋市民センター別館 講義室
会費： 月 1,000円 (5ヵ月分前納)
講師： 森川恵昭先生 (武庫川女子大学教授)
中村裕一先生 (武庫川女子大学教授)
藤本史子先生 (大手前大学教授)
講義： 9/7 法隆寺(日本)、10/5 法隆寺(日本)、11/2 アジャンター石窟群(インド)
12/7 龍門石窟寺院(中国)、1/18 敦煌の歴史(中国)
申し込み： 8/3(金)10～12時、市民センター別館講義室前のロビーにて受付。
葉書で申し込み 〒662-0085西宮市老松町12-11 大塚雅穂 宛

<お知らせ> 下記全体行事の参加をご予定下さい

□阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業

- 日時： 10月10日(水) 14:00～
場所： 尼崎市立小田公民館 大ホール
講演： 有野永霧氏 (大阪学芸大学 写真学科教授、写真家)

「自然と人間の共生」～人間が自然にしかけたこと～
環境や自然破壊の問題についてのお話と写真のスライド等

□年末講演会&懇親会

- 日時： 12月18日(火) 18:00～
場所： ホテル竹園

* 追って詳しい案内を申し上げますので日程を確保しておいて下さい。

第57回日本ユネスコ運動全国大会 参加報告

第57回日本ユネスコ運動全国大会が本年は6月9日（土）～10日（日）にかけて、ユネスコ加盟50周年記念「異文化間の対話」をメインテーマとして岐阜の長良川国際会議場で開催された。

（社）日本ユネスコ協会連盟の役員・事務局・関係者、岐阜県ユネスコ協会役員・関係者を始め、全国各ユネスコ協会の代表者約1,000名が集い盛大に開催された。

芦屋ユネスコ協会からは山田事務局長と園田事務局次長が参加した。北は北海道から南は沖縄まで、海外からは韓国のユネスコ代表が15名も参加された。

岐阜県ユネスコ協会主催のもと岐阜県、岐阜市挙げての全国大会は立派に企画・運営され全国の協会会員の交流・意見交換・親睦が図られ有意義な全国大会であった。

第13回ユネスコ・日本フェアプレー賞認証・授賞式、全国大会10回出席者表彰、映像研修「ユネスコ―平和を求めて」等のイベントもあったがユネスコ親善大使・日本ユネスコ国内委員会会長・日本ユネスコ協会連盟副会長の日本画家、平山郁夫氏の特別記念講演は岐阜の多数の一般市民も参加され、ユネスコ精神の「かん養」・世界遺産を守り次世代に伝える自らの活動について具体的に情熱を持って語られ、参加者それぞれが大変な感銘を受けた。

分科会では6分科会に分かれて現在、最も必要とするテーマについて真剣に討議された。各分科会テーマと内容は次の通りであった。

- 第1分科会 : ユネスコ協会のリニューアル（再活性化）と財政・運営
- 第2分科会 : 世界寺子屋運動
- 第3分科会 : 世界遺産活動と各地の取り組み
- 第4分科会 : ジェネレーション・ギャップの解消法（青少年に魅力的な活動）
- 第5文化会 : 総合的な学習への協力
- 第6分科会 : 高齢者は21世紀のために今、何ができるか

今回の全国大会でも、さまざまな人々との異なった文化や思想を理解し、相互に認め合い尊重しあうことから平和な社会を築こうとするユネスコの哲学をもとに、幅広い視点で活動してゆくことが全員で確認された。

来年度の第58回全国大会は6月1日（土）～2日（日）、神戸ユネスコ協会主催で神戸「松方ホール」をメイン会場として開催されることになった。

兵庫県下の各ユネスコ協会は神戸の全国大会を成功させるために、要請に基づいて全面的に協力することになっている。

芦屋ユネスコ協会としても地元開催であるので全会員が極力参加し全国大会を成功させたく、今から来年の6月1日～2日の日程を確保して頂くようお願いを申し上げます。

（追記）今回、岐阜で開催された第57回日本ユネスコ運動全国大会について、もしお問い合わせ、ご質問がありましたら事務局までご連絡下さい。各種資料も保管致しております。

私達もユネスコ活動に参加しよう！

ユネスコに「ユネスコ・コアアクション」という活動があります。Unesco Co-operative Action を略して命名され、発展途上国と先進工業国の人々が共に協力して行動するという意味が込められた支援活動です。この活動の一つとして、日本ユネスコ協会連盟が名付けた「ユネスコ・世界寺子屋運動」(World TERAKOYA Movement) があります。「読み書きソロバン」を教えた学習塾の名をつけたこの活動は、世界中の非識字者約9億人を対象に行われている支援活動です。そしてこの活動の原動力になる募金活動の一つとして書き損じはがきの回収活動があります。日本には書き間違えたり汚れてしまっただけで投函しなかった官製葉書を5円の手数料を差し引いて新しい官製葉書か切手に交換してくれる制度があります。ところが一般には、そのような書き損じ未使用葉書は引出の奥に眠ったままか、捨てられてしまうことが多いようです。このたった一枚のはがきで、たとえばネパールでは鉛筆7本、インドではノート3冊、カンボジアでは教科書1冊を購入することが出来るのです。運動によって1989～1998年の10年間で約5000教室の識字教室（寺子屋）が出来、そこで学んだ人々は40万人を越えます。支援先の活動を評価する調査団や、支援先を訪れるスタディツアー、高校生達の識字教室周辺での国際ワークキャンプも実施し、顔と顔の見える協力関係、相互理解を深めてきました。この10年間の支援総額は7億6000万円にのぼっています。識字支援は深刻化されているエイズ予防にも繋がる重要な活動でもあります。

芦屋ユネスコ協会においても、主催する会合・イベント・講演会などの受付にて回収活動を行っています。また市役所内協会事務局においても常時回収を行っています。今すぐ誰にでも出来るユネスコ活動です。書き損じはがきがありましたら是非回収にご協力下さい。

ユネスコ協会会員募集

世界中の人たちが心の中に平和のとりでを築く為にみんな手をつないで、教育・科学・文化の交流発展に努めている姿を見ながら、会員相互の親睦を図り市民ユネスコ運動を続けている芦屋ユネスコ協会にご参加ください。また主旨にご賛同いただける方を、ぜひお誘いください。世界平和に貢献できるユネスコ活動へ一人でも多くの皆さんが参加していただくことを心から望んでいます。

年会費 普通会员：3,000円 維持会員：5,000円 特別会員：1口 10,000円

学生会員：2,000円 団体会員：1口 20,000円

お問い合わせは 事務局 TEL0797-38-2091 (芦屋市教育委員会 生涯学習課)

ユネスコ会員になるだけで あなたはもう世界平和へ貢献しています。

会員として納められた会費のうち、1,300円は日本ユネスコ協会連盟を通して世界遺産の維持や非識字者の学習援助等幅広く使われています。その経過は隔月送られてくる「機関誌ユネスコ」で知ることが出来ます。

編集後記 行ってみたい世界遺産の旅！(T.T) 恥を書きつつも、学ぶこと多いAU誌 (K.N) すでに夏バテ。どうぞご自愛ください (T.H) ご一緒にユネスコ活動に参加しましょう！(R.O)